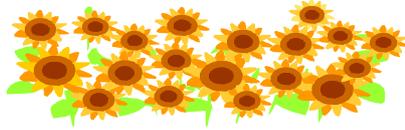


ひまわり通信

いのち輝く子ども



73 平成 19 年 12 月 6 日
新潟市立東青山小学校
児童数 616 人
(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

学力向上と生活習慣について

新潟市教育委員会では、今年 4 月に学力テスト(小 5 ~ 中 3 対象)及び生活実態調査(小 6 中 3 対象)を行いました。当校では、その結果について職員研修を行うなどして授業改善や児童への学習支援に活用していますが、保護者の皆様にも実態をお知らせした方がより効果的に活用できるのではないかと考え、11 月 26 日の参観日に合わせて講演会を実施しました。

「早寝・早起き・朝ご飯」と言われているように、生活習慣と学力は関係が深いことが分かっています。市教育委員会の報告によりますと、

「子どもが努力していたら認めてほめるようにしている」と答えた保護者とその児童の学力との相関は 0.3 あり、ほめることが学力の向上に役立っていることが分かりました。しかし、「子どもがよい成績をとったらほうびを与えるようにしている」と答えた保護者とその児童の学力との相関は -0.4 となり、ほうびを与えることが逆効果となっていることが分かりました。睡眠時間については、8 時間以上とっている児童の学力は高いのですが、6 時間以下の児童の学力は低い傾向にあります。同様に、テレビ視聴の時間が 1 時間以下の場合には学力が高い傾向にありますが、2 時間以上になると学力が低い傾向にあります。また、右図のように、番組やテレビを見る時間・ゲームをする時間を子どもと話し合っていると相関は 0.6 と高くなりますし、約束やきまりを必ず守らせるようにすると学力との相関は 0.3 となっています。これらのことから、望ましい生活習慣を身に付けることは学力の向上につながるものと思われます。

当校の児童の実態から、算数が嫌いな児童は 100%「算数がよく分からない」と答えています。当校では、基礎基本の定着に加えて「学ぶ楽しさを実感する子ども」を目指し、学ぶ意欲を引き出す授業に取り組んでいます。「分かる」「できる」「よさに気付く」授業を大切にしてい、学ぶことのおもしろさを感じさせる授業づくりに全員が取り組んでいるところです。



< 研究主任による説明 >

